

2008 International Conference on Multi-functional Materials and Structures 出張報告書

作成日：2008-08/04

文責：構造工学研究室 2008 年度 M2 高垣宜史

学会詳細

学会名：2008 International Conference on Multi-functional Materials and Structures

開催時期：28 July – 31 July 2008

開催場所：The Hong Kong Polytechnic Univ., Hong Kong, China

研究題目：Improvement of fatigue strength and impact properties of plain-woven CFRP modified with Micro Fibrillated Cellulose

研究著者：Norifumi TAKAGAKI, Kazuya OKUBO, Toru FUJII

発表者：Norifumi TAKAGAKI

発表形式：Oral (Presentation : 15 minutes, Discussion : 5 minutes)

学会 HP : <http://www.a-tech.hk/MFMS2008/Index.htm>

私は、2008 年 7 月 28 日～31 日に中国・香港にて開催された『2008 International Conference on Multi-functional Materials and Structures』という複合材料に関する国際学会に参加してきました。そこで、世界中の各国から集まってきた技術者・研究者の研究発表を聴講すると同時に、私も修士 1 回での研究成果をそこで口頭発表してきました。

私にとって初めて英語での発表及び質疑応答でしたが、事前の先生方のご指摘と当研究室メンバーの助言のおかげで、多少の緊張感と共に発表を終えることができました。また、幸運にも学会の Session Chairman としても 働かせて頂くことができ、微力ながら学会運営にも携われることができました。

一人での海外渡航はもちろん、国際学会を自分で見つけるところから、私にとって初めての経験であり、良い勉強でした。

学会終了後は、香港・マカオを観光しました。本場のフカヒレスープ、坦々麵、点心、飲茶や麵粥を堪能し、いくつもの映画・ドラマ等の舞台となった Victoria Peak (ヴィクトリア・ピーク) からの夜景は未だに目に焼きついています。

また、マカオタワーに行って世界最高である 233m の高さからバンジージャンプをしました。バンジージャンプを申し込む時受付係の人に「You are crazy!」と言われ、ジャンプする時を待っている間に、野次馬のチベット教徒とキリスト教徒の人に真剣に祈られました。自分が加速しているのが分かり、地面が迫ってくる感覚は未だに忘れられません。

もし当研究室の院生になればこのような貴重な経験ができると共に有意義な時間を過ごせると思います。

最後になりましたが、このような素晴らしい経験を与えて頂いた同志社大学をはじめ、藤井先生、大窪先生及び当研究室関係者の皆様に深く感謝致します。



Victoria Harbour の眺め(昼)



Victoria Harbour の眺め(夜)



発表中



学会終了後



¥8,000 のフカヒレスープ



片持梁的看板



高さ 233m から



ジャンプ!

(以上)